

# どこに住んでいても、お金の心配なく医療が受けられるよう せめて中学校卒業まで医療費無料化を

経済的理由により受診が遅れたり、治療が中断された事例

## ケース1

虫歯が10本以上あるが、経済的に厳しくずっと歯科受診できなかった小学生。最終的に中学生で総入れ歯に。  
(中学校養護教諭より)

## ケース2

1歳半頃に気管支喘息と診断され、3歳までに10回以上の入院歴。5歳から喘息発作による入院は7回。小学校入学後から治療の中断が増えた。保護者から「お金がないので、必要最低限の薬にしてほしい」と訴えあり。  
(小児科看護師より)



## 子ども医療費Q&A

**Q・「医療費無料」で安易な受診が増える？**

**A・重症化防止につながり、時間外受診が減少しています**

全国保険医団体連合会の調査では、医療費助成の拡充に関わらず、子どもの医療費は横ばいで推移しており、膨張しているとは言えません。逆に医療費助成の拡充によって、必要な医療を受けることができ、重症化防止につながり、その結果として時間外受診が減少しています。

**Q・自治体の財政負担が膨大になる？**

**A・早期受診で医療費負担軽減も**

早期受診は、病気の早期発見につながることもあり、重症化を防ぐことにもつながります。長期的にみれば、医療費負担が減ったという自治体もあります。子ども医療費の助成で「入院が減った」という研究結果も報告されています。(毎日新聞 2017年9月5日付)

**Q・他の都道府県の子ども医療費助成制度の状況は？**

**A・助成を拡充する都府県が増えています**

中学校まで医療費助成制度のある都府県は入院で10、通院で18(2017.4.1現在)。  
群馬県では、入院・通院とも中学校卒業まで無料。所得制限もありません。沖縄県では、子どもの貧困率が高い状況を改善するため、2018年10月から自己負担をなくし、就学前まで無料化しました。知事が決断すれば、医療費無料化は実現することができます。

北海道知事にあなたの声を届けます！  
署名にご協力おねがいします。

子どもの医療費無料化を求める北海道ネットワーク

(連絡先) 新日本婦人の会北海道本部 札幌市東区北24条東1丁目4-5 TEL011-721-2008